

キャンプファイヤー 司会用台本

第1部

① 入場

CD①

指導員が先頭を歩き、営火台を囲んで輪を作る。

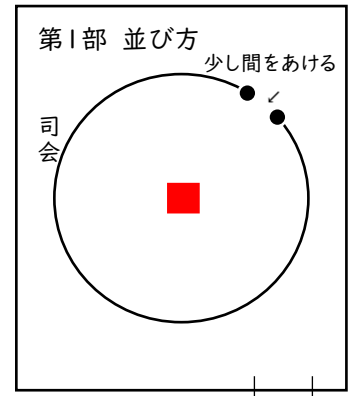
司会：目を閉じてください。

CD①フェードアウト

司会：今日一日のことを思い出してください。(今日一日あったことの話をする。)

目を開けてください。

ただいまより()によるキャンプファイヤーを行います。



② 火の入場

司会：始めに、火を迎える歌「遠き山に火は落ちて」を1番は歌で2番はハミングで歌いましょう。

(団体によっては、CDを流すだけということもある) CD② 2番の最後はフェードアウト

※2番が始まったら火之神、火の守が入場 (真ん中の営火台を一周したら、営火台の方を向いて並ぶ。)

③ 火の神の言葉

司会：火の神の言葉をいただきます。

火之神：「

CD④を流してもいい。

司会：ありがとうございました。

火之神から火の守へ、順々に火を分けていただきます。

(火之神は、後ろの火の守の方を向く。)

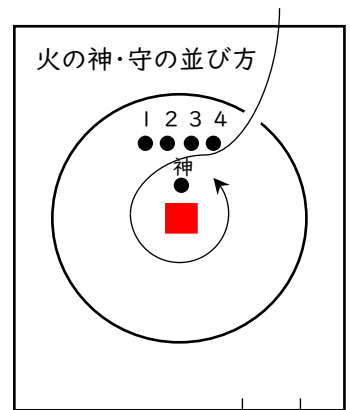
司会：第一の火は(火の守①)「私(ぼく)は自律の火をいただきます。」

第二の火は(火の守②)「私(ぼく)は友情の火をいただきます。」

第三の火は(火の守③)「私(ぼく)は協力の火をいただきます。」

第四の火は(火の守④)「私(ぼく)は奉仕の火をいただきます。」

(一歩前に出てから言う。)
火之神は火の守のトーチに点火。



④ 火の点火

司会：火之神・火の守は営火台を囲んでください。

これから中央の営火台に火をつけていただきます。

司会：第一の火は(火の守①)「私(ぼく)は自律の火をともします。」

第二の火は(火の守②)「私(ぼく)は友情の火をともします。」

第三の火は(火の守③)「私(ぼく)は協力の火をともします。」

第四の火は(火の守④)「私(ぼく)は奉仕の火をともします。」

司会：火之神と火の守は、火をつけてください。

司会：たった一つの火が、広がってこんなに明るくなりました。

火をたたえる歌「燃えろよ燃えろ」を3番まで歌いましょう。

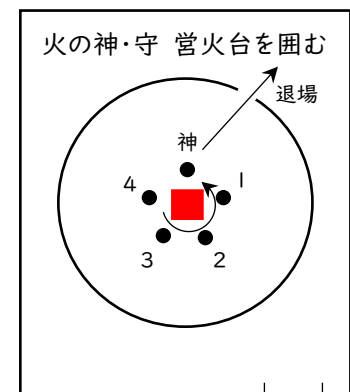
CD③

司会：火之神・火の守は退場してください。

(火之神を先頭に退場する。)

これで火を迎える儀式を終わります。

※火之神・火の守はトーチを片づけ、自分の場所に入る



第2部

司会：これから第2部「親睦の火」に移ります。

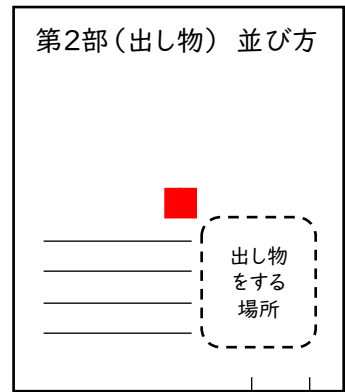
【班毎の出し物がある場合の進め方】

司会：これから、各班の出し物を行います。

お祭りコール

○班さん、お願いします。

(拍手で盛り上げる)



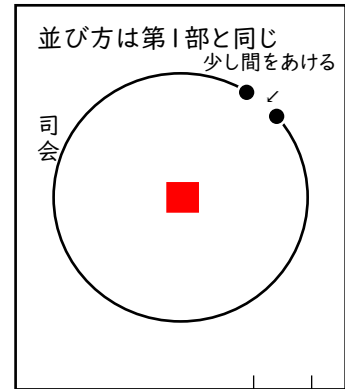
第3部

司会：整列してください。

司会：トーチが行き渡るまで、今日のことを振り返ってみましょう。

(トーチをもらっていない人は手を上げてください。)

司会：目を閉じてください。



⑤分火

司会：静かに目を開けてください。

火之神と4人の火の守は、前に出てきてください。

(それぞれのトーチを持ち、火の守は、火之神の後ろに横一列に並ぶ。)

火之神は、管火台から火をお取りください。(火之神は、後ろの火の守の方を向く。)

これから順々に火を分けていただきます。

CD⑧ 火の神の言葉が終わるまで流す。

司会：第一の火は(火の守①)「私(ぼく)は自律の火をいただきます。」

第二の火は(火の守②)「私(ぼく)は友情の火をいただきます。」

第三の火は(火の守③)「私(ぼく)は協力の火をいただきます。」

第四の火は(火の守④)「私(ぼく)は奉仕の火をいただきます。」

(一歩前に出てから言う。)

火の神は火の守の

トーチに火をつける。

司会：火之神と4人の火の守は、自分の位置に戻って、隣の人に火を分けてあげてください。

(火之神も輪の中に入り、両隣の人に火を分ける。順々に火を分けてもよい。)

⑥火を送る儀式

司会：火之神の言葉をお願いします。

火之神：「

」

司会：それでは、今、皆さんの心にともったいろいろな思い出の火が、いつまでも燃え続けることを願って

火をおくる歌「今日の日はさようなら」を3番まで歌いましょう。CD⑨ 全員が退場するまで繰り返す

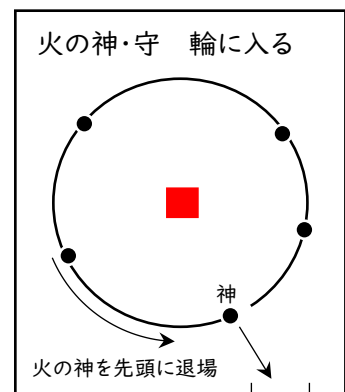
司会：火之神(出口に近い所にいてもらう)を先頭に退場してください。

(2番が終わったら、間奏の時に司会の合図で退場開始。)

全員右側を向き、ゆっくり歩き始めましょう。

※火が前の人に当たらないように気をつけましょう。

トーチの回収(出口付近で、指導員にトーチを渡す)缶バケツで回収



キャンドルファイヤー 司会用台本

第1部

①入場

CD①

指導員が先頭を歩き、燭台を囲んで輪を作る。

司会：目を閉じてください。

CD①フェードアウト

司会：今日一日のことを思い出してください。(今日一日あったことの話をする。)

目を開けてください。

ただいまより、()によるキャンドルファイヤーを行います。

②火の入場

司会：始めに、火を迎える歌「遠き山に火は落ちて」を1番は歌で2番はハミングで歌いましょう。

(団体によっては、CDを流すだけということもある) CD② 2番の最後はフェードアウト

1番で少しずつ電気を消す。2番で電気を全て消す。

※2番が始まったら火之神、火の守が入場

(真ん中の燭台を一周したら、燭台の方を向いて並ぶ。)

③火の神の言葉

司会：火の神の言葉をいただきます。

火之神：「

CD④を流してもいい。

司会：ありがとうございました。

火之神から火の守へ、順々に火を分けていただきます。

(火之神は、後ろの火の守の方を向く。)

司会：第一の火は(火の守①)「私(ぼく)は自律の火をいただきます。」

第二の火は(火の守②)「私(ぼく)は友情の火をいただきます。」

第三の火は(火の守③)「私(ぼく)は協力の火をいただきます。」

第四の火は(火の守④)「私(ぼく)は奉仕の火をいただきます。」

(一歩前に出てから言う。)
火之神は火の守のろうそくに点火。

④火の点火

司会：火之神・火の守は燭台を囲んでください。

これから中央の燭台に順々に火をつけていただきます。

司会：第一の火は(火の守①)「私(ぼく)は自律の火をともします。」

第二の火は(火の守②)「私(ぼく)は友情の火をともします。」

第三の火は(火の守③)「私(ぼく)は協力の火をともします。」

第四の火は(火の守④)「私(ぼく)は奉仕の火をともします。」

※それぞれ1本だけに、火をともし。

(最後に全員で燭台に火を灯してもいい。)

司会：残りのろうそくに火をつけてください。

司会：たった一つの火が、広がってこんなに明るくなりました。

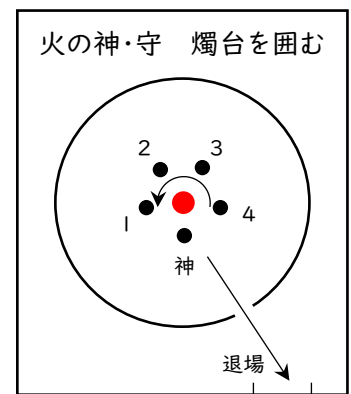
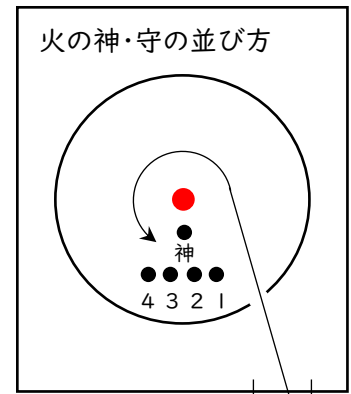
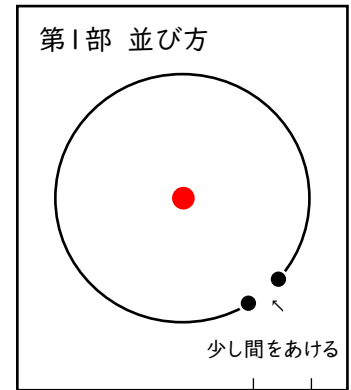
火をたたえる歌「燃えろよ燃えろ」を3番まで歌いましょう。 CD③

司会：火之神・火の守は退場してください。

(火之神を先頭に退場する。)

これで火を迎える儀式を終わります。

火之神・火の守の退場後、電気をつける。
燭台を移動する。



※火之神・火の守はろうそくを置いたら自分の場所に入る。

第2部

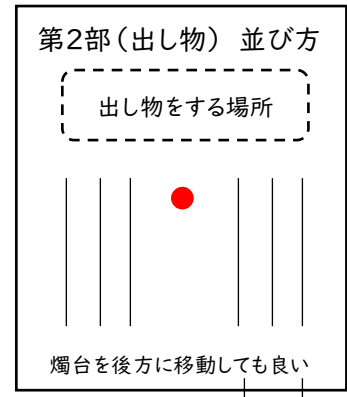
司会：これから第2部「親睦の火」に移ります。

【班毎の出し物がある場合の進め方】

司会：これから、各班の出し物を行います。

お祭りコール

○班さん、お願いします。(拍手で盛り上げる)



第3部

※火之神、火の守は退場しておく。

司会：整列してください。

司会：ろうそくが行き渡るまで、今日のことを振り返ってみましょう。

(ろうそくをもらっていない人は手を上げてください。)

※電気をすべて消す。

司会：目を閉じてください。

④分火

司会：静かに目を開けてください。

火之神と火の守の入場です。

(それぞれのろうそくを持ち、火の守は、火之神の後ろに横一列に並ぶ。)

火之神は、燭台から火をお取りください。

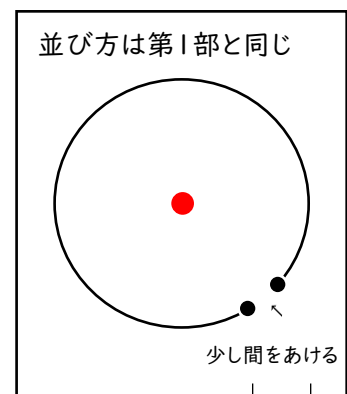
(火之神は、後ろの火の守の方を向く。)

これから順々に火を分けていただきます。

CD⑧

火の神の言葉が終わるまで流す。

燭台を中央に移動する。
電気をいくつか消して薄暗くしておく。



司会：第一の火は(火の守①)「私(ぼく)は自律の火をいただきます。」

第二の火は(火の守②)「私(ぼく)は友情の火をいただきます。」

第三の火は(火の守③)「私(ぼく)は協力の火をいただきます。」

第四の火は(火の守④)「私(ぼく)は奉仕の火をいただきます。」

(一歩前に出てから言う。)

火の神は火の守の

キャンドルに火をつける

司会：火之神と4人の火の守は、自分の位置に戻って、隣の人に火を分けてあげてください。

(火之神も輪の中に入り、両隣の人に火を分ける。順々に火を分けてもよい。)

⑤火を送る儀式

司会：火之神の言葉をお願いします。

火之神：「

」

司会：それでは、今、皆さんの心にともったいろいろな思い出の火が、

いつまでも燃え続けることを願って

火をおくる歌「今日の日はさようなら」を3番まで歌いましょう。

CD⑨

全員が退場するまで繰り返す

司会：火之神(出口に近い所にいもらう)を先頭に退場してください。

(2番が終わったら、間奏の時に司会の合図で退場開始。)

全員右側を向き、ゆっくり歩き始めましょう。

ろうそくの回収(出口付近で、指導員にろうそくを渡す)バケツで回収

